



## 豊かな「実りの2学期」に

副校長 山田 章浩

40日間の長い夏休みが終わり、学校のあるじたちが戻ってきました。今年の夏休みは、行動制限やマスクの着用などが緩和され、久しぶりに「夏休みらしい」日々を送れたのではないのでしょうか。旅行を楽しんだこと、暑い中スポーツを頑張ったこと、こつこつと学習に取り組んだこと、家でのんびり過ごしたこと、それぞれ思い出がつくれたと思います。

さて、いよいよ2学期が始まります。2学期は、1年間で一番長い学期と言われています。真夏の厳しい暑さが残る9月から、サンタさんが待ち遠しい12月。季節の大きな変化を感じることができるのも2学期の特徴といえるでしょう。

この頃の植物に目を向けてみると、春にきれいな花を咲かせた後、夏にはたくさんの日差しを全身に受けて、青い実や葉を付けます。秋の深まりとともにその実は大きくなり、色づき、そして熟していきます。実が無くなり、葉を落とす寒い冬には、力強く土の中に根を伸ばし、次の春に備えます・・・。

高井戸小の子どもたちにも、これらの植物の

ように、1学期や夏休みにつけた力を大きく実らせてほしいと思っています。それを実現するためには、子どもたち自身が「一緒に考えたい!」「もっとできるようになりたい!」と、多くの人と関わりながら、意欲的に学ぶ豊かな日々を送ることが不可欠です。そのために、私たち大人には何ができるのでしょうか。「大きくなれ。できるようになれ。」と必要以上の水や肥料を与えるべきでしょうか。「虫がついたら大変!」と防虫剤をたくさん撒けばよいのでしょうか。これらの支援を否定するわけではありません。人により、時により必要となるケースがあるはずですが、でも、莖や葉に少し傷がついてしまっても、小さな虫がついても「大丈夫だよ。」と励まし、子どもたちが自分自身で伸びようとする姿を支える「添え木」のような存在でありたいと思うのです。

保護者の皆様と私たち教職員も、子どもたちに大きく成長してほしいと願う心は同じです。豊かな「実りの2学期」となるよう、がっちりスクラムを組んで進んでいきたいと思えます。2学期もよろしくお願いいたします。

### 9月の生活目標 『 くつばこ、1mmのきせきを意識して! 』

生活指導部

夏休みは猛暑日が多く、体調に気を付けて過ごす日々が続いたと思います。2学期が始まり、久しぶりに友達に会う子どもたちは、2学期の期待が大きく膨らんでいると思います。わくわくする気持ちが高ぶり過ぎると、時に歯止めが利かなくなり、思わぬ事故につながることもあります。今月は、2学期の目標に向けてよいスタートがきれのように、学校のきまりを再度確認し落ち着いた生活ができるように促していきます。加えて、余裕をもった生活が送れるよう、靴の整頓を心掛けて過ごせるように指導していきます。



